



*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。長田中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

日本選手権・室内競技U16部門男子60m走 清水空跳選手 優勝！ ～ライバルに競り勝ち、予選決勝ともに1位で大会記録を2度更新！～

第107回日本陸上競技選手権大会・室内競技が大阪市の大城ホールで競技が行われました。2月3日(土)に行われたU16男子60mに、本校陸上競技部から清水空跳選手が出場しました。

予選から大会記録を更新していた飯干愛斗選手(アローザル、6秒95)と清水空跳選手(長田中、6秒93)の一騎打ちに！決勝では、6秒88へと記録を伸ばした清水選手が優勝しました。清水選手、おめでとうございます！

今大会では、石川県出身の藤本選手(走り幅跳び・津幡中)や町選手(60mH・星稜高OB、浅野川中OB)も活躍し、見事優勝を勝ち取りました。おめでとうございます！



清水 60^秒 藤本 走り幅跳び 町 60^秒 障害
元気届ける日本一

気遣う声が「力になった」

清水(長田中)大会新

昨年8月の全中200mで優勝し、北國スポーツ賞を受賞した清水は予選で大会記録(7秒01)を更新する6秒93をマークし、決勝は2位に0秒06差の6秒88とさらに伸ばし、カツポーズを喜んだ。

正月は軽井沢への家族旅行から金沢の自宅に戻った30分後に地震に遭った。中学最後の大会は「ほぼ100点の走りかできた」と胸を張った。

練習拠地の県陸上競技場が自衛隊の活動拠点になって使えず、走り込みは学校で行ってきた。調整は十分ではなかったが、会場では被災地を気遣う声にも触れ「力になった」。中学最後の大会は「ほぼ100点の走りかできた」と胸を張った。

U16男子60^秒優勝の清水

【北國新聞 2月5日(月)】

令和6年能登半島地震義援金に

ご協力いただき、ありがとうございました！

～生徒会役員が中心となり、全校生徒が考えた取組の1つです～



【復興への想いを込めた書家 阿部豊寿さんの書(1年職業人を囲む会より)】

1月1日に発生した令和6年能登半島地震に対して、生徒会では、意見ボックスでの意見を受けて、1月29日～2月6日の期間、募金活動を行いました。1年生の「職業人を囲む会」で講師を務めていただいた書家の阿部 豊寿さんが復興への願いを込めて書かれた「想」の書も生徒玄関に掲示し、募金活動を盛り上げました。

2日の全校集会では、「わたしたちにできること」について、全校生徒から出た意見を生徒会長が発表しました。ボランティアなど、直接関わることは難しいけれど、自分たちが体調管理をしっかりしたり給食を残さず食べたりすることで、間接的に貢献できることがあることを全校生徒で共通理解しました。被災地に寄り添う思いが感じられ、生徒のみなさんが頼もしく見えました。



【募金を呼びかける生徒会役員と協力する生徒の様子】